

## 横浜市立大学に関する財務分析

横浜市立大学（以下、市立大学と略記）の財務状況（資金的、損益的並びに負債面が健全か否か）は「存在意義」あるいは「あり方」を検討する上で重要なポイントと考えられる。そこで、市立大学の最新のデータ（平成14年度予算）を参考に「私立大学」と比較しつつ検討してみた。

あらかじめお断りしておきたいことは二点ある。

一つは平成13年度以前の過去数年間の傾向も参考にすべきかとも考えたが、大筋の傾向は不変とみなしたため単年度のみ取り上げた。二つめは何故、他の公立大学と比較せずに私立大学を比較対象としたかについては経営の合理的運営は私学に一日の長ありと見たこと及び公立大学の比較では大差なしと推測したことによる。

### I. 市立大学・部門別消費収支計算書（平成14年度予算・単位百万円）

#### 消費収支計算書（大学）

消費支出の部		帰属収入の部	
大学総務費	9,220	使用料及び手数料	2,388
理学部費	796	寄付金	493
医学部費	807	雑収入他	390
学術情報センター費	350	消費支出超過額 (欠損金・赤字)	10,147 ④
その他	894		
支払利息等	1,351		
合 計	13,418	合 計	13,418

#### 消費収支計算書（附属病院）

消費支出の部		帰属収入の部	
附属病院運営費	17,368	使用料及び手数料	12,789
支払利息等	1,020	諸収入他	294
		消費支出超過額 (欠損金・赤字)	5,305 ⑤
合 計	18,388	合 計	18,388

消費収支計算書 (センター病院)

消費支出の部		帰属収入の部	
センター病院運営費	20,456	使用料及び手数料	17,554
支払利息等	1,302	諸収入	296
		国及び県支出金	217
		消費支出超過額 (欠損金・赤字)	3,691 ◎
合計	21,758	合計	21,758

II. 資金収支上の不足金補充策

1. 資金不足額

・消費支出超過額合計 (A+B+C)			△19,143
・市債収入 (借入金)			
	附属病院	416	
	センター病院	180	+596
・公債支出 (借入金返済)			
	大 学	1,921	
	附属病院	1,231	
	センター病院	1,983	△5,135
	不足金合計		23,682

2. 補充金

・一般会計繰入金 (税金)		24,280
差 額 金		598

(注) 上記差額金 598 百万円は各会計が年初に所有していた繰越金その他である。

### III. 消費収支計算書作成上の留意事項

#### 1. 用語の解説

- ①消費収支計算書とは私立大学等の学校法人に作成が義務付けられている財務計算書類の一つ。判りやすくいえば学校法人の損益計算書的なもの。
- ②帰属収入とは当該年度に消費支出となる諸経費に充当する為に収入（学生納付金、補助金や病院医療収入等）したものであり、返却、返済の必要の無い収入。
- ③消費支出とは当該年度（単年度）に消費されてしまう支出（人件費や諸経費）であり、長期的に使用できる建物、車両等を含まない。
- ④消費支出超過額とは消費収入より消費支出が大の場合に生じる欠損金、赤字。

#### 2. 市立大学の消費収支計算書の作成上（組替え上）、前提とした事項

- ①作成データの出典は「平成14年度横浜市立大学概要」のP.4、5〔2〕予算、によった。
- ②歳入予算額のうち繰越金、市債、一般会計繰入金は帰属収入には入れていない。繰越金は前年度からの単なる残金であり、市債は負債であるため。なお、一般会計繰入金は税金による赤字補填金の性質をもつため。
- ③歳出予算額のうち大学他の施設整備費は建物等固定資産の取得費とみなして消費支出には入れていない。
- ④同様に歳出予算額のうち公債費、予備費も消費支出に入れていない。

#### 3. 退職給与引当金、減価償却費の取扱い

地方自治体が設置者であるため地方自治法施行規則の規定により双方とも計上されていない。私立大学等の学校法人は双方とも計上していることと比較すると、市立大学の赤字幅はその分少なくなっている。この点はデータの判断上重要な事項。

### IV. 市債残高の推移（最近10年間・市立大学分のみ3部門計）

年 度	残 高	指 数
平成4年度末	567 億円	100.0
6	618	109.0
8	611	107.8
10	975	172.0
12	1,167	205.8
13	1,142	201.4

(注) 8年度末から10年度末にかけ364億円、更に12年度末にかけ192億円増加しているが主因は前の期間に408億円、後の期間にも175億円の各々センター病院建設のために起債したことにある。

V. 主要医科系私立大学データ（2002/3月期）

データ出典：週刊東洋経済（2002/10/19号）

（単位：億円）

大 学 名	帰属収入(除く補助金)	消費支出	差 引	長短借入金残高
日本大学	1,655	1,713	△58	68
東海大学	1,094	1,249	△155	412
慶応大学	1,023	1,176	△153	131
獨協大学	650	650	0	106
福岡大学	562	527	35	44
<hr/>				
市立大学	344	535	△191	1,142

VI. 各種データから読み取れるポイント

1. 平成14年度歳入・歳出予算書から読み取れるポイント

① 収入面

- 1) 市債発行に依存（両病院）596百万円
- 2) 主として赤字補填及び市債償還の為に24,280百万円を一般会計繰入金（補助金）に依存している。

② 支出面

- 1) 施設整備のため3部門合計で1,291百万円を必要としている。  
（予算書の施設整備費をそれとみなした）
- 2) 市債の償還（元金）及び利息支払の為、8,808百万円の支出を余儀なくされている。
- 3) そうした努力にもかかわらず市立大学関連（3部門計）のみでも市債残高は1,142億円にのぼっている。（平成14年3月末残高）

2. 消費収支計算書（除く補助金）から読み取れるポイント

- ①平成14年度予算の場合、年間赤字幅は大学全体で実に下記のとおり200億円近い。特に大学の赤字は100億円をこえている。

赤 字 額	大 学	10,147 百万円
	附属病院	5,305
	センター病院	3,691
	計	19,143

- ②消費支出のうち市債の利息とその経費は3部門合計で3,673百万円に達している  
（元金の返済額を含まず）

### 3. 「主要医科系私立大学データ」との比較から読み取れるポイント

会計制度の違いもあり公立大学と私立大学を単純に比較することはできないが、次のような点で示唆がある。

- (1) 補助金を除いた収支（損益）採算は例示した私立大学では大規模法人2校が150億円超のマイナスであるのに対し、いわば小規模法人の市立大学は190億円超のマイナスになっている。帰属収入（除く補助金）に対する消費支出の比率は（収支係数）は1.55であり100の収入をあげるのに155のコストを要している。
- (2) 借入金（市債）残高は私立大学と比べ市立大学は異常ともいえる借金漬け体質。帰属収入で市立大学は獨協大学や福岡大学の約2分1にすぎないが、借入金（市債）残高では前者の約11倍、後者の約26倍と異常高。

以 上